

2022年度(令和4年度)

事業者

Do

事業所自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100			広いわけではないが、基準以上であり、児童が活発に活動している
	2	職員の配置数は適切であるか	100			基準以上であり一人一人の動きを見られている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	67	33		活動スペースは完全にバリアフリー
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100			始業時間に朝礼を兼ねて、前回の振り返り、本日の活動の確認を毎日行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100			年に一度アンケートを行い、職員全員が周知し改善に努めている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100			年に一度必ず公表している（Doは初めてだが同事業所）
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50	50		外部評価していないが、各市町村、相談員の意見は取り入れている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100			適材の職員が受講するようにしている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			アセスメントシートを活用しアセスメントを行い作成
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100			事業所のアセスメントシートを活用
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100			毎月10日前後に会議での話し合いを行いプログラムを立案
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100			毎月変化するような活動をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100			予定されたプログラムを毎日スケジュールを考え、課題やねらい、危険予測などを話し合い設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100			モニタリング前の（職員）担会→モニタリング→モニタリング後の（職員）担会を行い、しっかり計画を立てる
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100			・朝礼を兼ねての毎日の打ち合わせを行い、補足や追加は周知LINEを使用し確認している ・支援チェック表を使用
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100			・利用時間終了後に業務時間内に行える時間がある際や急を要する場合は当日に必ず行う。その他は次回に必ず行う ・支援チェック表を使用
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100			職員全員が記録し確認できるようになっており、検証・改善に繋がっている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100			定期的にモニタリングを行っており、前後にも会議を行い職員全員で判断している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100			四季折々、地域性など様々な活動を取り組み支援している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			管理者、児発管が基本とし参加し、状況により適した職員が参加している
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100			利用前には必ず学校へ挨拶へ伺い、下校表の配信の依頼、お迎えの際の場所等の確認、学校での様子を傾聴を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	33	50	17	該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100			関係機関との情報は重視しており必要に応じてモニタリング参加依頼するなど努めている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	67	33		同上
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100			関係機関の情報は重要であり、研修、会議には必ず参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	66	17	隣接されたcafeで、活動として「手伝い」と取り入れることで地域との交流を積極的に取り入れている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	67	33		管理者または児発管が毎回参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100			毎日の送迎の際に活動での様子をしっかりお伝えしご家庭での様子も伺い共通理解に努めている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	83	17		上記を元に、保護者への配慮がとても大切だと考え丁寧に行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100			契約時に相談員を含めて説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100			相談を受けた職員が会議の際に取り上げ、全員で話し合い助言するようにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100			コロナ状況を注視し体育館を借りて親子での参加する運動会を行い保護者会を設けた

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83	17		職員全員で話し合い、担当相談員に連絡し第三者の意見を取り入れ対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			毎月25日に次回の活動予定、内容をLINE配信。コロナ発生時などの急な際は都度の電話連絡を行う。
	35	個人情報に十分注意しているか	100			契約時に説明と同意を行っている
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50	50		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100			保護者に契約時にマニュアルを使用しての説明を行い、一部をお家庭に保管していただいている。職員は事務所と玄関に掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100			年に2回以上行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100			虐待防止委員会を設置し研修を行い職員全員に周知している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	83	17		必要と予測される児童に際しては、相談員と相談し、保護者へマニュアルを使用し説明し同意を行っている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100			契約時に確認し職員全員へが周知する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100			報告書を作成し、各事業所で話し合い、会社全体で周知する